



## ■福島原発事故から8年、原発ゼロの日本をつくるために 「第8回原発ゼロへのカウントダウンinかわさき」集会&デモに1300人が参加

実行委員会事務局代行 **かもした 元** (当NPO 理事)

2019年3月10日、中原平和公園に1300人の市民が集まり「原発ゼロ」「東海第二原発の再稼働反対」を訴える集会とデモ行進がおこなわれました。

### 福島県南相馬市から神奈川県に避難している 村田弘さんの訴え

村田弘さんは、集会で「あの原発事故から8年。一言でいえば「つらい日々」でした。そして、いまもつらい日々を送っています。会社の定年を待ちかねて飛んで帰った田舎での穏やかな農耕生活を突然奪われ、放射能に汚されてしまったふるさとを想い、足を失った幽霊のような気持ちに苛まれ、さまよう毎日でした。」と横浜での避難生活について語りました。そして「私は、神奈川県に避難した61家族174人のみなさんと、2013年9月以来、横浜地裁で集団訴訟を闘ってきました。これほどの被害をもたらした事故の原因も責任もあいまいにされ、被害者が打ち捨てられていいのか、という意地でした。提訴以来5年半かかりましたが、先月20日、勝利判決を手にすることができました。」と述べ、国と東京電力の責任を認めた「福島原発かながわ訴訟」の横浜地裁での勝利を報告、会場は大きな拍手に包まれました。



【メイン集会】今年は、1,300人の市民が集まり熱気を帯びました。

### 川崎市に再生可能エネルギー促進条例をつくる活動にとりくむ 鳥海幸恵さんの訴え

川崎地域エネルギー市民協議会の鳥海幸恵さんは、世界的に見れば、福島原発事故を契機に原発をやめて再生可能エネルギーに切り替える流れが多数派になっていること、コスト面でも原発より再エネの方が安くなっていることを指摘しました。そして、「国の政策がどうしても変わっていかないのであれば、私たちは真剣に自分たちの足元を考えねばなりません。」



再生可能エネルギー促進条例のスピーチ



川崎から、私たちは再エネで発展する都市、災害に強く安心して暮らせる都市を目指す政策を発信していきたいと思います。そのために、省エネを基本とし、再エネを軸に据える基本姿勢を謳う再エネ条例の制定を求めています。エネルギー政策を国と大電力会社にお任せした結果、あの惨事を招いた反省をふまえ、市民がエネルギー政策立案にしっかりと参画していくことを謳う条例をつくりたい。そう願っています。」と述べ、現在とりくまれている再エネ促進条例づくりへの協力を訴えました。

**東海第二原発の再稼働を止めよう・・・東海村・元村長の村上達也さんの訴え**



【メインゲスト】村上達也さん(元東海村村長)

日本で最初に原子力の火が灯った東海村で生まれ育ち、16年間村長を務めた村上達也さんが集会のメインゲストとして原発再稼働反対を訴えました。村上さんは過疎の村が近代化していく風景を見て最初は「原子力」を歓迎していたといいます。しかし、1990年の東海村 JCO 臨界事故によって作業員2人が被曝して死亡、住民多数が被曝。その後の原子力推進派の不誠実な対応を体験して、原発に対する見方が変わっていったそうです。福島原発事故を受けて現職の村長として「脱原発」を訴え、村長を退任した今も脱原発をめざす首長会議の世話人として活躍されています。

村上さんは、第8回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集會に1300名の市民が集まっていることを見て「首都圏で、こういう集會をやっていただいて、これは東海第二原発を止めるための大きな励みになっている」と述べました。川崎から120キロの距離にある東海第二原発の再稼働が計画されており、集會では再稼働に反対する集會宣言が満場一致で採択されました。

市内で活動している3団体からのリレートークの後、武蔵小杉駅までパレードに出ました。



【デモ行進】武蔵小杉駅まで3梯団で「原発なくそう！未来のために」



【ブース出店】当NPOは会津の酒を販売



【文化行事】和太鼓演奏、ほか多数出演♪



## ■5/11・12「学習企画 in 茨城」のお知らせ

東京電力福島第一原子力発電所事故から8年が過ぎました。しかし、未だ原発事故の終息の目途さえつかない状況です。にもかかわらず、政府は再稼働を強引に推し進めています。次は首都圏唯一の東海第二原発の再稼働を目論んでいます。運転開始から40年以上が経過している最も老朽化が進んでいる原発の一つです。また、立地面での人口密集度は国内のみならず世界で群を抜いています。

自分の会社さえ儲かればいい、今さえよければいい、という社会が継続する限り、私たちはその犠牲者になる危険性を排除できません。



原発に反対する私たちの今期の学習企画では、茨城県東海村に赴きます。一日目に、市民がお金を出し合って作った風力発電（市民風車）を見学します。みんなの為に、みんなが少しずつ協力し、完成させた風力発電の今とこれからを学びに行きます。

二日目は、東海村にある原子力発電所のPR館「東海テラパーク」で推進派の意見を聞けないかと調整中です。なぜ、調整中なのかと申しますと、「原発反対派には説明できない」とするPR館の方針があるようなのです。物事の本質を知るためには、推進派・反対派、両者の意見を聞くことが欠かせないと考えております。どうか、PR館側の理解と協力のもと実現したいと思います。

お楽しみの観光スポットは「北総の小江戸」と呼ばれる人気観光地、千葉県香取市佐原（さわら）。水郷の町でもあり、小野川沿いを中心とした地区は、江戸の雰囲気そのままに土蔵造りの商家や町屋が軒を連ね、大祭では豪華絢爛な山車が引き回されることでも有名です」（HP引用）

お申し込みは、知り合いの理事メンバーにお願いします。

副理事長 田中 哲男

### ●スケジュール

5月11日（土）07：30 出発 集合場所：武蔵小杉駅東口 ロータリー（ららテラス武蔵小杉前）

10：00～「水の郷さわら」街並み見学と昼食 ◆千葉県香取市佐原

13：00～ 波崎エネルギー風力発電「市民風車なみまる」見学 ◆茨城県神栖市

17：00 宿到着 阿字ヶ浦温泉「旅館海楽」 ◆茨城県ひたちなか市

5月12日（日）09：00～ 宿で学習会 2H 講師：「脱原発ネットワーク茨城」小川仙月様

11：30～ 昼食「道の駅日立 おさかなセンター」 ◆茨城県日立市

13：00～「東海テラパーク」見学 2H（予定） ◆茨城県那珂郡東海村

18：30頃 到着予定 解散場所：武蔵小杉駅東口

●参加費：23,000円（移動費、学習費用、朝夕付き宿泊代、昼2回）

●主催：NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

（担当：田中、斉藤、加藤▶☎09057646826）

●定員：20名。定員に達し次第、募集を締め切ります。

※スケジュールは直前に変更する場合があります。



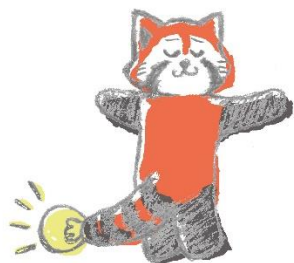
## ■いよいよ！発電所「4号機」建設に向けてGO！



屋根をお借りして、太陽光を利用した発電所 1 号機・2 号機が完成したのは 2015 年、「うしおだ診療所」の屋上に発電所 3 号機を建設したのが 2017 年 11 月でした。3 箇所合わせて出力約 54 kW、順調に発電しています。そして、いよいよ待望の発電所 4 号機の建設の目途がたちました。FIT 価格が 18 円/kWh という厳しい条件下ではありますが、採算がとれるように算段をすすめているところです。

場所は、中原区の某マンションの屋上をお借りし、具体的なことはまだ検討段階ですが、見込みとして出力 49.5 kW という、当 NPO 法人としては最大規模となります。完成は 2019 年秋を目指します。皆さまには、ぜひ『出資』のご協力をよろしくお願い申し上げます。

副理事長 加藤 伸子



4月28日（日）10時～17時 てくのかわさき  
NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所「一日合宿」を開催します。  
今後の活動をどうしていくのかなど、まじめに話し合います（笑）  
ご参加いただける方は事前にご連絡をお願いいたします♪

### 【編集後記】

4月7日が神奈川県知事選と県議選、川崎市議選の投票日だった。川崎地域エネルギー市民協議会再エネ条例プロジェクトが、市議立候補予定者に「再生可能エネルギー」に関するアンケートを行い、回答をHPで公開しているのでぜひ見ていただきたい。それにしても投票率40%とか有り得ない・・・意識の低さに呆れるが、投票所を駅に設けるなどあらゆる工夫も必要ではないか。（加藤伸子）

### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090—7948—6189（川岸）

でん太通信は、ほぼ毎月15日に発行しています。

